

汚染水対策スケジュール (1/2)

資料1-1

分野	括り	対象設備・作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			12月以降	備考			
				13	20	27	4	11	18	25			上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下					
●原子炉建屋滞留水を2020年末の半分程度に低減(2022~2024年度)	建屋内滞留水	【1~4号機 滞留水移送装置】 (実績) ・1~4号機滞留水移送装置運転  (予定) ・1~4号機滞留水移送装置運転	現 場 作 業	1~4号機滞留水移送装置設置 運転																								(継続運転)	
		【α核種除去設備検討】	設 計 ・ 検 討																									(2022年2月設計完了予定)	
		【1~4号機 T/B床面スラッジ等の回収方法検討】	設 計 ・ 検 討																									(2023年度設計完了予定)	
		【滞留水処理 代替タンク設計】	設 計 ・ 検 討																									(2022年3月設計完了予定)	
		【プロセス主建屋・高温焼却建屋ゼオライト土壌の検討】	設 計 ・ 検 討																									(2023年度上期設計完了予定)	高温焼却炉建屋の地下階調査完了(2021/5/20~5/28) プロセス主建屋の地下階調査実施予定(2021/7/26~8/6)
●汚染水発生量を100m3/日以下に抑制(2025年内)	浄化設備	【既設多核種除去設備】 【高性能多核種除去設備】 【増設多核種除去設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現 場 作 業	処理運転(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)																								(継続運転)	処理水及びタンクのインサーピス状況に応じて適宜運転または処理停止  既設多核種除去設備 除去性能確認に係る実施計画変更申請(2021/7/2) 増設多核種除去設備 前処理設備改造に係る実施計画変更申請(2021/7/27)
		【サブドレン浄化設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現 場 作 業	処理運転																								(継続運転)	サブドレン汲み上げ、運用開始(2015.9.3~) 排水開始(2015.9.14~)  前処理フィルタ1B、2B取替完了(2021.5/27)
		【5、6号機サブドレンの復旧】 (実績) サブドレン設備復旧工事着手(2020/9/7~) ・設備設置：約1700m <sup>2</sup> 約1900m ・中継タンク設置：2/2基 ・ポンプ・水位計設置：0/13箇所 ・試験(各設備設置後)：一式(未実施)	現 場 作 業																									(2022年3月運転開始予定)	2021年2月18日 5・6号機サブドレン集水設備復旧の実施計画変更認可(原規規発第2102184号)
		【地下水バイパス設備】 (実績) ・運転 (予定) ・運転	現 場 作 業	運転																								(継続運転)	
		【セシウム吸着装置】 【第二セシウム吸着装置】 【第三セシウム吸着装置】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現 場 作 業	処理運転																								(継続運転)	2021年1月29日 吸着塔の第二セシウム吸着装置及び第三セシウム吸着装置での再利用の実施計画変更認可(原規規発第2101291号) 使用前検査予定日：2021年10月(第三セシウム吸着装置、2・3号) 2021年11月(第二セシウム吸着装置、2・3号)
		【(実績・予定) ・未凍結箇所補助工事は2018年9月に完了 ・維持管理運転2019年2月21日全域展開完了	現 場 作 業	維持管理運転(北側、南側の一部 2017/5/22~、海側の一部 2017/11/13~、海側全域・山側の一部 2018/3/14~、山側全域2019/2/21完了)																								(継続運転)	
●汚染水発生量を100m3/日以下に抑制(2025年内)	フェーシング(陸側海水壁内エリア)	【凍土壁内フェーシング(全6万m <sup>2</sup> )】 (予定) 4号機タービン建屋東側	現 場 作 業	4号機タービン建屋東側																								(2022年2月工事完了予定)	4号機タービン建屋東側：2021年4月7日開始
	焼却工作建屋止水対策	(実績・予定) ・止水対策工事(地下水流入確認箇所) (2021.2月水位上昇への対応)	現 場 作 業	止水対策(地下水流入確認箇所)																									・地下水流入確認箇所への止水(6/14より止水作業開始) ・焼却建屋止水完了(7/2)、経過観察中

汚染水対策スケジュール (2/2)

資料1-1

分野 項目	対象設備・作業内容	これまでの動きと今後6ヶ月の予定	6月							7月							8月			9月			10月			11月			12月			12月以降	備考									
			13			20				4			11				18			25			上			中			下					上			中			下		
			上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中			下	上	中	下	上	中	下		
●タンク関連	H4エリアNo. 5タンクからの漏えい対策	(実績・予定) ・汚染の拡散状況把握	モニタリング																																				(継続実施)			
	タンク解体	(実績・予定) ・Eエリアフランジタンク解体工事 : 49基解体予定	Eエリアフランジタンク解体工事																																				(2022年4月 工事完了予定)*	2018年9月10日 Eエリアにおける中低濃度タンクの撤去等について(実施計画変更認可)		
	タンク設置	(実績・予定) ・G4北エリア溶接タンク設置工事 : 6基設置予定 ・G5エリア溶接タンク設置工事 : 17基設置予定	G4北エリア溶接タンク設置工事																		G5エリア溶接タンク設置工事																		(2022年8月* 工事完了予定)	(2022年8月 工事完了予定)	※：排水回収中の2基を除く 今後、実施計画変更申請予定	
●溜まり水対策	溜まり水対策	【構内溜まり水の除去】	(継続実施)																																				(継続実施)	年1回、溜まり水の点検を実施		
●自然災害対策	津波対策	○日本海津波対策 ・日本海津波対策防波堤設置 (実績・予定) 試験施工 本体構築工事	現場調査・測量・試験施工																		本体構築工事																		(2024年3月 工事完了予定)	1-4号機側：2024年3月完了予定 現場着手：2021/06/21開始		
	津波対策	○O3.11津波対策 ・建設閉口部閉止 (実績) 閉止箇所数 119箇所/127箇所 (7月27日時点) (予定) 外部閉口閉塞作業 継続実施	【区分5】 1~4Rw/B, 4R/B, 4T/B原等																																				(2022年3月 工事完了予定)	【区分①】 1~3T/B等2019年3月、全67箇所完了 【区分②】 2, 3R/B外部のハッチ等 (2019年3月~2020年3月、全20箇所完了) 【区分③】 1~3R/B原等 (2019年9月~2020年11月、全16箇所完了) 【区分④】 1~4Rw/B, 4R/B, 4T/B (2020年3月~2022年3月、16箇所/24箇所完了)		
	津波対策	○O3.11津波対策 ・メガフロート移設【7/16時点】 (実績) 番底マウンド造成100%、ハラスト水処理100%、 内外部汚染作業100%、 メガフロート移設・仮着底：100% 内部充填作業：100% 護岸ブロック製造：100% 覆土工：100% ブロック基礎被覆：100% 上部盛土：73% 上部コンクリート工：21% (予定) 港湾ヤード整備	護岸工事																																				(2022年2月 工事完了予定)	番底マウンド造成：2019年5月20日開始、2020年2月7日完了 ハラスト水処理：2019年5月28日開始、2020年2月20日完了 内部除染：2019年7月16日開始、2020年2月26日完了 メガフロート移設・仮着底：2020年3月4日完了 内部充填：2020年4月3日開始、8月3日完了 護岸ブロック据付：2020年10月2日開始、2021年2月4日完了 覆土工：2021年1月16日開始、2021年3月24日完了 ブロック基礎被覆：2021年3月25日開始、2021年6月8日完了 上部盛土：2021年4月19日開始、2021年7月30日完了目標 上部コンクリート工：2021年6月16日開始、2021年10月29日完了目標 ※2月13日の地震による影響を福島県と協議し、追加申請を実施予定。		
豪雨対策	○豪雨対策 ・D排水路新設 (実績) (7月27日時点) 準備工事 完了 立坑構築工(南発達立坑部) 70% 立坑構築工(上流側到達立坑部) 80% 立坑構築工(下流側到達立坑部) 6% 立坑構築工(小口径推進部) 20% (予定) トンネル工事	立坑構築工事(南発達立坑部、下流側到達立坑部、上流側到達立坑部、小口径推進部)																																				(2022年8月 工事完了予定)	南発達立坑部：2021/03/06施工開始 下流側到達立坑部：2021/03/22準備開始、7月16日施工開始 上流側到達立坑部：2021/04/05施工開始 トンネル工事：2021/07/29開始予定			
			トンネル工事(下流側~2022.1)																																				(2022年8月 工事完了予定)			

水処理設備の運転状況、運転計画  
(2021年8月6日～2021年9月2日)

2021年8月20日  
東京電力ホールディングス株式会社

多核種除去設備

	6(金)	7(土)	8(日)	9(月)	10(火)	11(水)	12(木)	13(金)	14(土)	15(日)	16(月)	17(火)	18(水)	19(木)	20(金)	21(土)	22(日)	23(月)	24(火)	25(水)	26(木)	27(金)	28(土)	29(日)	30(月)	31(火)	1(水)	2(木)
A	計画停止																											
B	点検停止																											
C	計画停止																											

増設多核種除去設備

	6(金)	7(土)	8(日)	9(月)	10(火)	11(水)	12(木)	13(金)	14(土)	15(日)	16(月)	17(火)	18(水)	19(木)	20(金)	21(土)	22(日)	23(月)	24(火)	25(水)	26(木)	27(金)	28(土)	29(日)	30(月)	31(火)	1(水)	2(木)
A	← 計画停止 →											点検停止						← 点検停止 →										
B	← 計画停止 →						← 点検停止 →						← 点検停止 →						← 計画停止 →						点検停止			
C	点検停止																											

セシウム吸着装置(KURION)、第二セシウム吸着装置(SARRY)、第三セシウム吸着装置(SARRY2)

	6(金)	7(土)	8(日)	9(月)	10(火)	11(水)	12(木)	13(金)	14(土)	15(日)	16(月)	17(火)	18(水)	19(木)	20(金)	21(土)	22(日)	23(月)	24(火)	25(水)	26(木)	27(金)	28(土)	29(日)	30(月)	31(火)	1(水)	2(木)	
SARRY	← 計画停止 →											点検停止	← 点検停止 →											← 計画停止 →					
SARRY2	← 点検停止 →											点検停止	← 計画停止 →											← 点検停止 →					
KURION	計画停止 (滞留水の状況に応じて運転を計画、実施)																												

※ 現場状況を踏まえて運転するため、計画を変更する場合があります。

福島第一原子力発電所の滞留水の水位について  
(2021年8月6日～2021年8月19日)

2021年8月20日  
東京電力ホールディングス株式会社

	原子炉建屋水位				タービン建屋水位				廃棄物処理建屋水位				集中廃棄物処理施設水位			
	1号機	2号機	3号機		4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	プロセス 主建屋	高温焼却炉 建屋	サイトバンカ 建屋
			HPCI室	トラス室												
8月6日	-2031	-2117	-2061	-2019	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-1212	211	2709
8月7日	-2031	-2086	-2064	-2001	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-1188	153	2709
8月8日	-2032	-2114	-2063	-2027	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-1181	153	2709
8月9日	-2041	-2098	-2049	-2047	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-1132	153	2709
8月10日	-2034	-2081	-2059	-2043	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-1105	154	2709
8月11日	-2041	-2098	-2066	-2040	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-1088	154	2709
8月12日	-2035	-2091	-2059	-2040	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-1088	154	2709
8月13日	-2035	-2086	-2057	-2041	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-1080	154	2708
8月14日	-2021	-2107	-2036	-2024	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-1043	155	2708
8月15日	-2020	-2109	-2035	-2003	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-921	155	2707
8月16日	-2048	-2091	-2040	-2048	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-794	155	2707
8月17日	-2039	-2081	-2050	-2048	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-690	155	2707
8月18日	-2014	-2093	-2031	-2043	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-543	163	2707
8月19日	-2021	-2110	-2047	-2029	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-484	249	2708
最下階床面高さ	-2666	-4796	-4796		-4796	443	-1752	-1737	-1739	-36	-1736	-1736	-1736	-2736	-2236	-

## 備考欄

- ※ T.P.表記(単位:mm)
- ※ 5時時点の水位
- ※ 1号機タービン建屋の滞留水処理完了(2017年3月)
- ※ 1号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2019年3月)
- ※ 3号機原子炉建屋水位は、南東三角コーナー水位が停滞している事から水位変動を監視するため一時的に記載(2019年7月5日～)
- ※ 4号機原子炉建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 2号機タービン建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 3号機タービン建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 4号機タービン建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 2号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 3号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 4号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ サイトバンカ建屋は過去に滞留水を誤って移送したことがあり、排水したものの現状も低レベルの汚染が残っていることから、水位を監視している。  
なお、当該建屋内の水は1～4号機建屋及び集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋、高温焼却炉建屋)内の建屋滞留水と切り離されており、放射能濃度も低いことから、建屋滞留水ではない。

## 福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

東京電力ホールディングス株式会社  
2021年8月20日

実施計画 記載箇所	大分類	小分類	保管場所	保管形態	保管量 <sup>※1, 11, 12</sup>	保管容量 <sup>※1, 12</sup>	管理方法		主要 核種
							実施内容 <sup>※9</sup>	頻度	
Ⅲ 第1編 39条 第2編 87条の2	瓦礫類	・地震、津波、水素爆発により飛散した瓦礫 ・フォールアウトにより汚染した設備・資機 材で廃棄する物（建屋、制御盤、廃車両 等） ・設備の点検・工事により発生する交換品等 （ポンプ、バルブ、配管、フランジタンク 等） ・設備運転に伴い発生する消耗品等（空調 フィ ルタ等） ・工事等のため構内に持ち込んだ消耗品（梱 包 材、型枠、セメント用空袋等）	屋外	・屋外集積【～0.1mSv/h】	226,400 m <sup>3</sup> [ +900 m <sup>3</sup> ]	270,200 m <sup>3</sup> ( 291,200 m <sup>3</sup> )	・人が容易に立ち入れないよう区画	—	Cs-137 Cs-134 等 <sup>※7</sup>
				・シート養生【～1mSv/h】	40,900 m <sup>3</sup> [ -1,200 m <sup>3</sup> ]	71,000 m <sup>3</sup> ( 71,000 m <sup>3</sup> )	・巡視を行い、容器の転倒、落下や養生 シートに破れがないこと、その他異常 が無いことを確認	週1回	
				・覆土式一時保管施設、容器収納【1mSv/h～30mSv/h】	17,900 m <sup>3</sup> [ 0 m <sup>3</sup> ]	24,600 m <sup>3</sup> ( 24,600 m <sup>3</sup> )	・空間線量率を測定し表示	週1回	
			固体廃棄 物貯蔵庫	・容器収納	25,600 m <sup>3</sup> [ 微減 m <sup>3</sup> ]	39,600 m <sup>3</sup> ( 64,700 m <sup>3</sup> )	・空気中の放射性物質濃度を測定	6ヶ月に 1回 <sup>※2</sup>	
				瓦礫類の合計		310,700 m <sup>3</sup> [ -200 m <sup>3</sup> ]	405,300 m <sup>3</sup> ( 451,400 m <sup>3</sup> )	・槽内の溜まり水の有無を確認（覆土式 一 時保管施設）	
	使用済保 護衣等	・タイベック ・下着類 ・ゴム手袋 ・その他保護衣、保護具	屋外	・容器収納	33,700 m <sup>3</sup> [ +700 m <sup>3</sup> ]	68,300 m <sup>3</sup> ( 74,500 m <sup>3</sup> )	・煙、水蒸気、濁り水（黒・茶色）、空 気の揺らぎが発生していないこと（屋 外 集積の伐採木）	週1回 <sup>※3</sup>	
			建屋	・袋詰め					
	伐採木	・枝葉根	屋外	・伐採木一時保管槽	37,300 m <sup>3</sup> [ 0 m <sup>3</sup> ]	41,600 m <sup>3</sup>	・伐採木一時保管槽における温度監視	週1回 <sup>※3</sup>	
				・屋外集積	700 [ +100 m <sup>3</sup> ]	6,000 m <sup>3</sup>	・保管量を確認し、保管容量が確保され て いることを確認	月1回	
		・幹根	98,800 m <sup>3</sup> [ +2,000 m <sup>3</sup> ]	128,000 m <sup>3</sup>					
伐採木の合計		136,800 m <sup>3</sup> [ +2,100 m <sup>3</sup> ]	175,600 m <sup>3</sup> ( 175,600 m <sup>3</sup> )						
Ⅲ 第1編 40条 第2編 87条の3	水処理二 次廃棄物 （水処理 により放 射性物質 を濃縮し た廃棄 物）	・凝集沈殿物	廃スラッジ 貯蔵施設	・造粒固化体貯槽【除染装置】	442 m <sup>3</sup> [ -12 m <sup>3</sup> ]	700 m <sup>3</sup>	・免震重要棟にて液位を監視し、漏えい の有無を監視	常時	
			使用済セ シウム吸 着塔一時 保管施設	・HIC【多核種除去設備、増設多核種除去設備】 （最大約13mSv/h）	3,843 本 [ +32 本 ]	4,192 本	・人が容易に立ち入れないよう区画	—	
				・HIC【多核種除去設備、増設多核種除去設備】 （最大約23mSv/h）			・空間線量率を測定し表示	—	
				・吸着塔【第二セシウム吸着装置、第三セシウム吸着装 置、高性能多核種除去設備、RO濃縮水処理設 備】（最大約1.2mSv/h）	377 本 [ +3 本 ]	584 本	・巡視を行い、コンクリート製ボックス カルパート等に異常が無いことを確認	—	
				・処理カラム【多核種除去設備】（最大約0.2mSv/h）					
		・フィルタ	屋外	・吸着塔【セシウム吸着装置、モバイル式処理装置、モバ イル型Sr除去装置、第二モバイル型Sr除去装 置、サブドレン他浄化装置、高性能多核種除去 設備検証試験装置】（最大約250mSv/h）	973 本 [ 0 本 ]	1,596 本	・貯蔵量を確認し、貯蔵可能容量が確保 されていることを確認	週1回	
				・容器収納【モバイル型Sr 除去装置】 （最大約0.5mSv/h）					
			固体廃棄 物貯蔵庫	・容器収納【高性能多核種除去設備、RO濃縮水処理設備】 （最大約0.5mSv/h）	瓦礫類に含む		瓦礫類と同様	—	
		・RO装置のフィルタ類	屋外	・容器収納【サブドレン他浄化装置】	瓦礫類に含む		瓦礫類と同様	—	
				・容器収納【雨水処理設備等】（1mSv/h未満）	瓦礫類に含む		瓦礫類と同様	—	
・樹脂	固体廃棄 物貯蔵庫	・容器収納【SFP塩分除去装置】（最大十数mSv/h） ・容器収納【雨水処理設備等】（最大2mSv/h）	瓦礫類に含む		瓦礫類と同様	—			

福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

東京電力ホールディングス株式会社  
2021年8月20日

実施計画 記載箇所	大分類	小分類	保管場所	保管形態	保管量 <sup>※1, 11, 12</sup>	保管容量 <sup>※1, 12</sup>	管理方法		主要 核種
							実施内容 <sup>※9</sup>	頻度	
Ⅲ 第1編 38条 第2編 87条	放射性固 体廃棄物 等	・震災前に発生した放射性固体廃棄物  ・震災後に発生した放射性固体廃棄物 (焼却灰等)	固体廃棄 物貯蔵庫	・ドラム缶収納	ドラム缶 175,661 本	ドラム缶 (約318,500本相 当)	・巡視による保管状況の確認及び保管量 の確認	月1回	Co-60 等
				・その他	ドラム缶 10,155 本				
				・ドラム缶収納	2,453 本 [ +8 本 ]				
		・使用済制御棒等	サイトバ ンカ	・水中保管	12,125 本 193 m <sup>3</sup> <sup>※4</sup>	—	・事故前の保管量の推定値により確認	3ヶ月に1 回	
							・プール水位の確認	月1回	
		・イオン交換樹脂、造粒固化体	タンク等	・タンク等に貯蔵	3,543 m <sup>3</sup> <sup>※5</sup>	—	・貯蔵量の確認 <sup>※8</sup>	3ヶ月に1 回	
・使用済制御棒等	使用済燃 料プール	・水中貯蔵	11,422 本 <sup>※6</sup>	—	・使用済燃料共用プールの巡視	月1回			
					・使用済燃料共用プールの貯蔵量の確認	3ヶ月に1 回			
— <sup>※10</sup>	瓦礫等	・回収した土壌	-	・シート養生、容器収納、雨水等侵入防止養生	—	10,200 m <sup>3</sup> [ +600 m <sup>3</sup> ]	・人が容易に立ち入れないよう区画 ・空間線量率を測定し表示	—	Cs-134 Cs-137 等
		・回収した土壌以外の瓦礫等	屋外	・屋外集積、シート養生、容器収納、雨水等侵入防止養生	—	61,100 m <sup>3</sup> [ +1,500 m <sup>3</sup> ]			
			建屋	・屋内集積、シート養生、容器収納、雨水等侵入防止養生	—	900 m <sup>3</sup> [ -100 m <sup>3</sup> ]			
	水処理二 次廃棄物	・樹脂、ゼオライト、RO膜等	-	・容器収納、容器収納の上 シート養生	—	200 m <sup>3</sup> [ 微増 m <sup>3</sup> ]			Cs-137 Cs-134 Sr-90等
				仮設集積の合計	—	72,500 m <sup>3</sup> [ +2,000 m <sup>3</sup> ]			

※1 瓦礫類、使用済保護衣等、伐採木、仮設集積物、震災後に発生した放射性固体廃棄物（焼却灰等）は2021年6月30日現在、水処理二次廃棄物は2021年8月5日現在の保管量及び保管容量である。尚、瓦礫類、使用済保護衣等及び伐採木の下段に（ ）で記載している保管容量は、実施計画（2021年4月6日認可）に記載している保管容量である。

※2 屋外集積及びシート養生の瓦礫類、使用済保護衣等、並びに屋外集積の伐採木は、3ヶ月に1回。

※3 6月～9月は、1週間に3回。

※4 2021年3月末時点の保管量。内訳は、制御棒：1,167本、チャンネルボックス：9,818本、ヒューエルサポート：3本、中性子検出器：1,137本、その他（シュラウド切断片等）：193m<sup>3</sup>。

※5 2021年3月末時点の保管量。内訳は、イオン交換樹脂：2,395m<sup>3</sup>、造粒固化体：1,148m<sup>3</sup>。

※6 2021年3月末時点の保管量。内訳は、制御棒：281本、チャンネルボックス：10,539本、ポイズンカーテン：173本、ヒューエルサポート：54本、中性子検出器：375本。

※7 廃棄物の処理・処分に必要となる、廃棄物の性状把握のため、汚染水、瓦礫類、伐採木及び立木について、放射能濃度分析を実施しており、今後も継続する。分析した試料の中には、C-14（半減期：約5.7×10<sup>3</sup>年）、Ni-63（半減期：約1.0×10<sup>2</sup>年）、Se-79（半減期：約1.1×10<sup>6</sup>年）、Tc-99（半減期：約2.1×10<sup>5</sup>年）、I-129（半減期：約1.6×10<sup>7</sup>年）等が検出されているものがある。

※8 1～4号機廃棄物処理建屋等の水没や高線量の理由によりアクセスできないタンクについてはこの限りではない。

※9 アンダーラインの実施内容は、実施計画（2021年4月6日認可）に未記載。

※10 仮設集積しているのは、伐採木、土壌、水処理二次廃棄物等であり、QJ-54・1F-R5-002 瓦礫等管理要領に基づき、ロープや柵等の区画を行い、立ち入りを制限する標識を掲示する措置を講じている。また、保管量については集積する最大の量である。

※11 [ ]は、前回報告値との差を示している。

※12 一部の値について端数処理で100m<sup>3</sup>未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。また、50m<sup>3</sup>未満の増減を微増・微減と示している。

ガレキの保管量の現状（2021年6月30日時点）

屋外集積（0.1mSv/h以下）対象エリアの保管量<sup>※7</sup>

受入目安表面線量率 (mSv/h)	エリア名称	保管容量 <sup>※1、4</sup> (m <sup>3</sup> )	保管量 <sup>※1</sup> (m <sup>3</sup> )	前回比 <sup>※2</sup> (m <sup>3</sup> )
≤0.001	AA	36,400	17,900	+700
≤0.005	A2	9,500	— <sup>※5</sup>	— <sup>※5</sup>
	J	8,000	6,200	0
≤0.01	A1	4,300	— <sup>※5</sup>	— <sup>※5</sup>
	B	5,300	5,300	0
	C	31,000	31,000	0
≤0.025	C	35,000	35,000	+200
≤0.028	U	800	700	0
≤0.1	C	1,000	1,000	0
	F2	7,500	6,400	0
	N	10,000	9,600	0
	O	51,400	44,000	0
	P1	64,000	62,600	微増
	V	6,000	6,000	0
合計		270,200	226,400 <sup>※6</sup>	+900

2022年3月末瓦礫類想定発生量 <sup>※3</sup> (m <sup>3</sup> )	262,200
--	---------

シート養生（1mSv/h以下）対象エリアの保管量<sup>※7</sup>

受入目安表面線量率 (mSv/h)	エリア名称	保管容量 <sup>※1、4</sup> (m <sup>3</sup> )	保管量 <sup>※1</sup> (m <sup>3</sup> )	前回比 <sup>※2</sup> (m <sup>3</sup> )
≤0.3	D	4,500	2,600	0
≤1	E1	16,000	14,600	0
	P2	9,000	5,900	0
	W1	23,000	9,900	微減
	W2	6,300	0	-1,200
	X	12,200	7,900	0
合計		71,000	40,900	-1,200

2022年3月末瓦礫類想定発生量 <sup>※3</sup> (m <sup>3</sup> )	73,700
--	--------

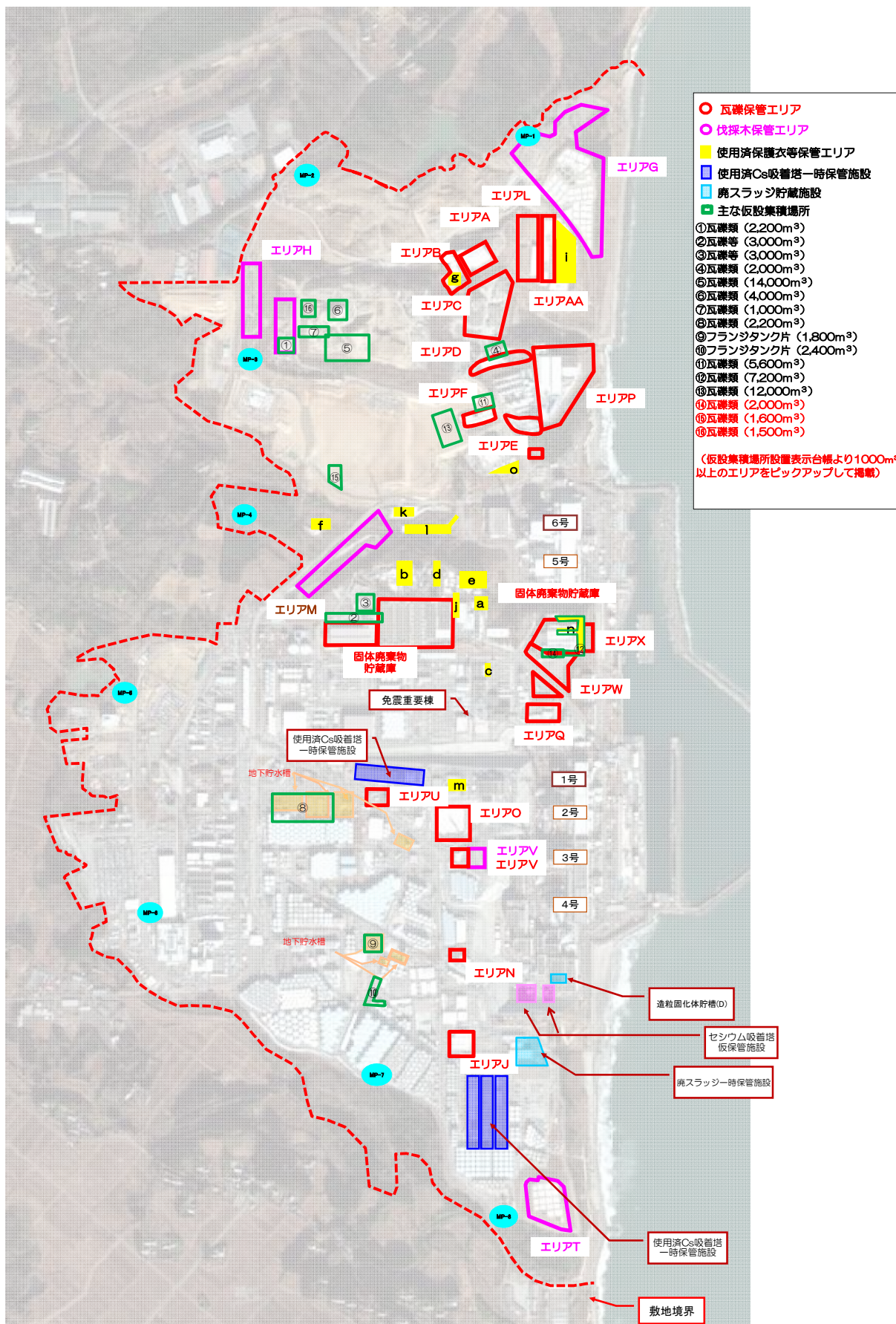
30mSv/h以下対象エリアの保管量<sup>※7</sup>

受入目安表面線量率 (mSv/h)	エリア名称	保管容量 <sup>※1、4</sup> (m <sup>3</sup> )	保管量 <sup>※1</sup> (m <sup>3</sup> )	前回比 <sup>※2</sup> (m <sup>3</sup> )
≤5	Q	6,100	0	0
≤10	F1	700	600	0
	E2	1,800	1,200	0
≤30	L	16,000	16,000	0
合計		24,600	17,900	0

2022年3月末瓦礫類想定発生量 <sup>※3</sup> (m <sup>3</sup> )	33,000
--	--------

- ※1 端数処理で100m<sup>3</sup>未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
- ※2 100m<sup>3</sup>未満を端数処理しており、微増・微減とは50m<sup>3</sup>未満の増減を示す。
- ※3 瓦礫類の保管量（想定）は、実施計画（2021年4月6日認可）の予測値を示す。
- ※4 瓦礫類の保管容量は、運用上の上限を示す。
- ※5 エリアA1及びA2は低線量エリアとした（2020年1月6日認可）が、移行期間のため「—」と記載。
- ※6 エリアA1及びA2は1～30mSv/hの瓦礫類を仮設集積中。合計値には、この仮設集積分を含む。
- ※7 各受入目安線量率において、固体廃棄物貯蔵庫の保管量は除いて記載。

# 福島第一原子力発電所 固体廃棄物等保管エリアの構内配置図



提供：日本スペースイメージング（株）、©DigitalGlobe



# 3号機R/B 北東三角コーナーの連通性悪化と対応について

2021年8月20日

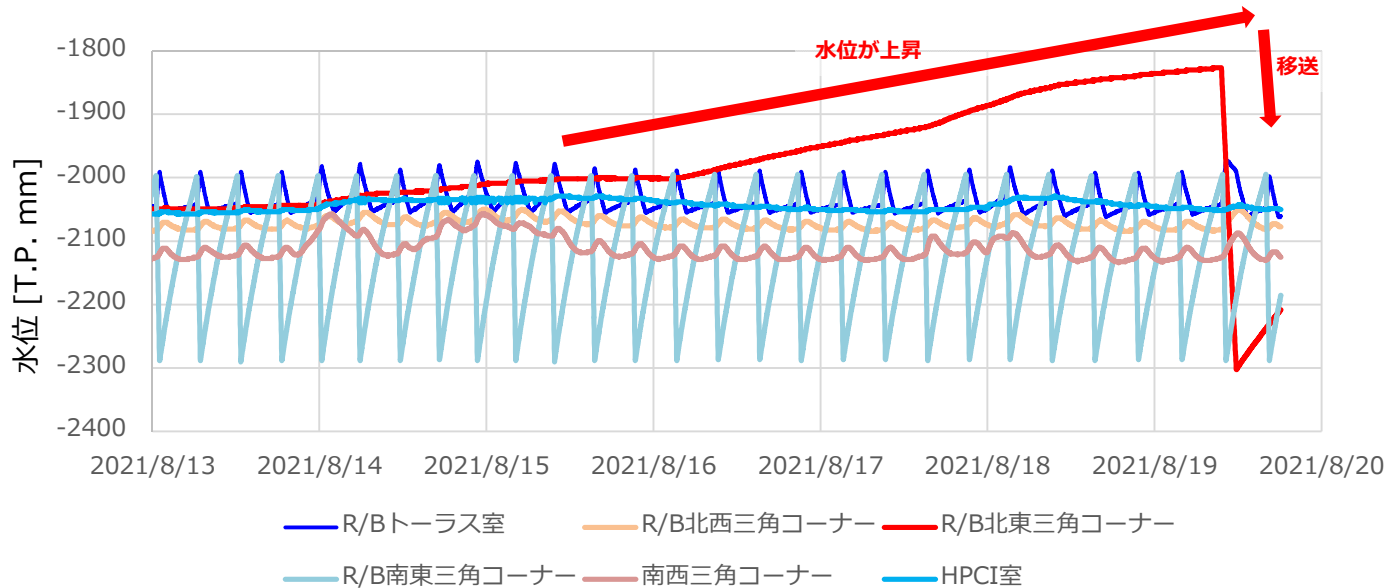


東京電力ホールディングス株式会社

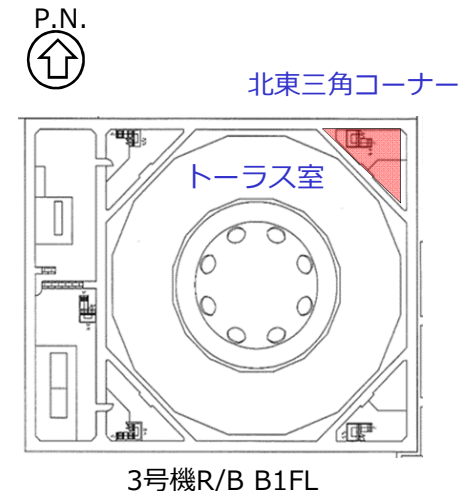
# 1. 3号機R/B 北東三角コーナーの状況

- 3号機R/B北東三角コーナーは、これまで滞留水移送ポンプが設置されているトラス室と連動して水位低下してきたが、2021年8月16日より徐々に水位上昇していることを確認。なお、水位計の異常等も考えられたが、水位計に問題はなく、実水位測定で実際に水位上昇していることを確認している。
- 原因は配管貫通部の詰まり等で連通性が悪化したことと考えられる。
- 当該エリアの水位を下げるべく仮設移送設備を設置し、8月19日に約33m<sup>3</sup>移送を実施\*。
- 移送後の傾向を確認し、必要に応じて、ポンプの自動化対策等を検討する。

\*サブドレン水位設定値T.P.-650に対し、建屋水位約T.P.-1800で移送を開始。（水位差が800mm+塩分補正值以上になるよう管理）

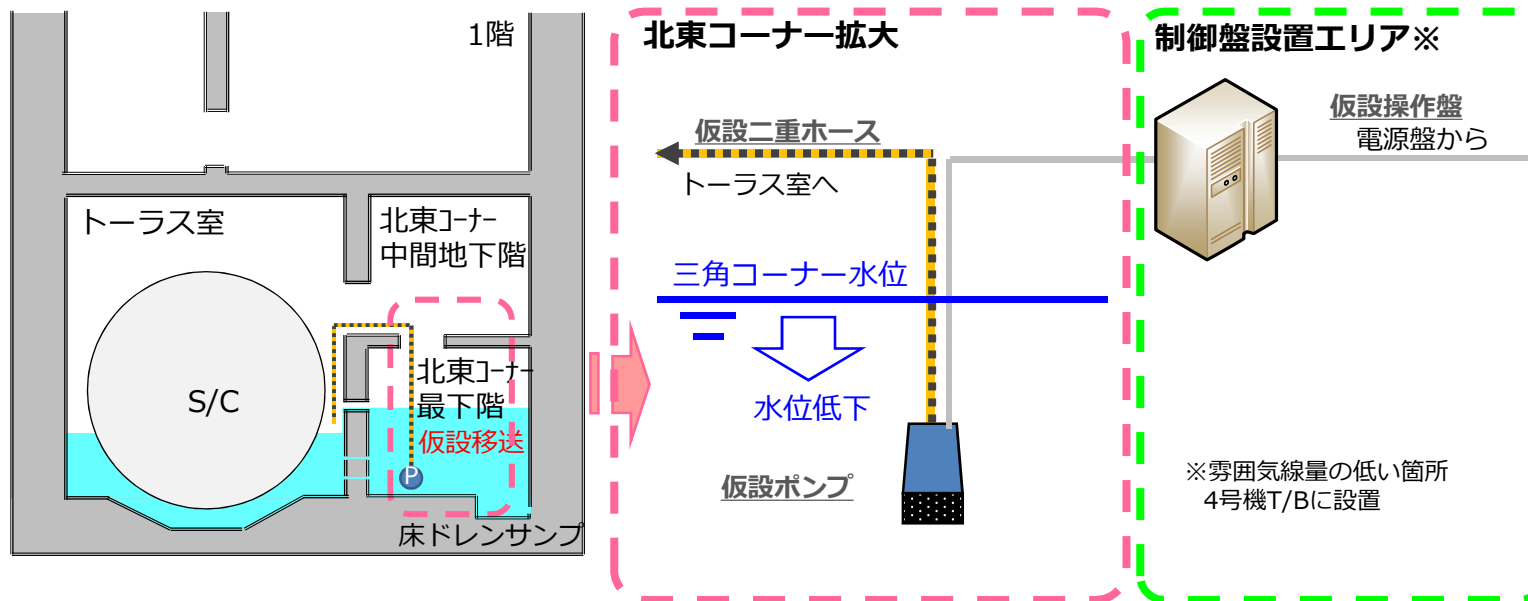


3号機R/Bの水位挙動と建屋平面図



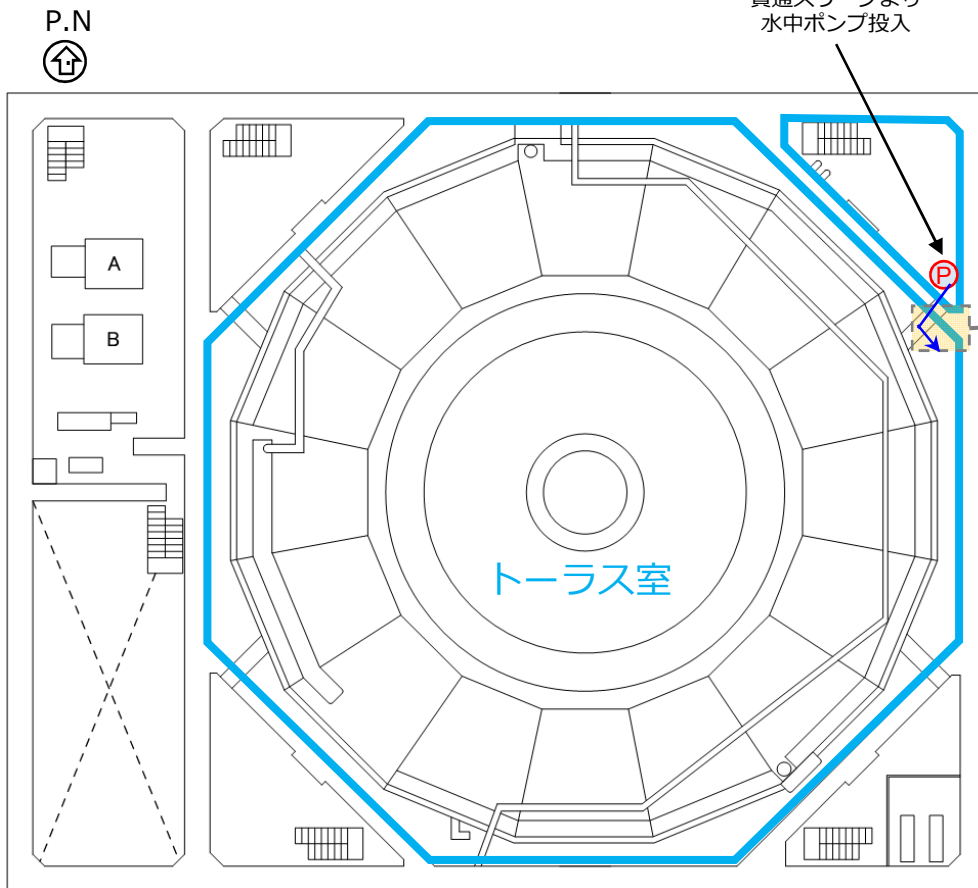
## 2. 仮設排水設備の詳細

- 仮設排水設備は以下を考慮した設備とすることにより、信頼性を高める。
  - 運転は手動とし、既設の水位計で水位を監視しながら運転
  - 漏えい対策として、ホースは二重ホースを使用し、中間地下階のみに設置（地上階には設置しないため、万一漏えいが発生しても汚染を拡大させない）



### 3. 仮設排水設備の設置状況

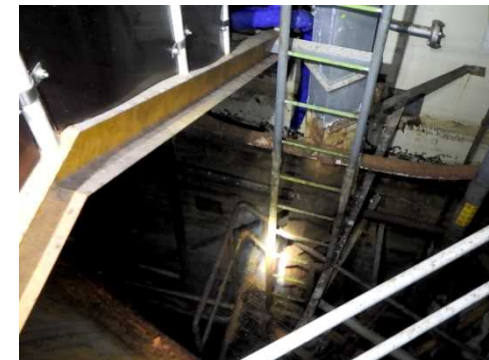
- 作業における線量実績
  - 総線量：4.66 人・mSv
  - 個人最大線量：1.40 mSv
  - 延べ人数：15人（4班）
- 設置状況（トラス室側）



3号機R/B MBFL平面図



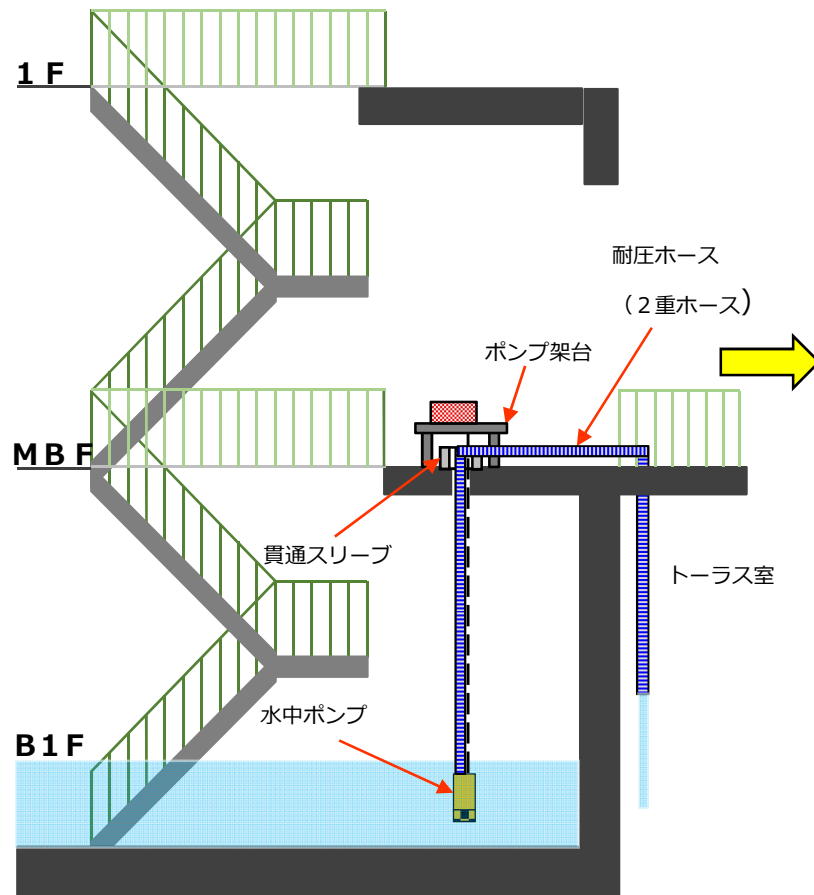
トラス室内仮設排水設備布設状況



仮設排水設備排水先状況

# 【参考】仮設排水設備の仕様

機器名	出力	吐出量	台数	備考
水中ポンプ (100V)	0.75kW	16.8m <sup>3</sup> /h	1台	1台/系統



仮設排水設備状況写真